第１１回全国ＲＹＬＡ研究会　2018/12/28

今年度も当地区で開催することになりました。RYLAを知ることができる機会となりますので、
皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

日時：2019年2月3日（日）10:00～16:50
受付開始　9:30～（開場9:00）
場所：神戸商工会議所
〒650-8543 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目1番地
Tel.078-303-5801
登録料：10,000円（お弁当代、プログラム、報告書等含む）
対象者：地区ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー
　　　　ガバナー補佐、地区青少年奉仕委員長、副委員長、委員、地区RYLA委員長、
　　　　副委員長、委員、RYLAに関心のあるロータリアン、RYLA学友会会員
目的：
1.RYLAセミナーの目的及びリーダーの定義の確認
2.RYLAセミナーにおける危機管理の在り方
3.RYLAセミナーにおけるカウンセラーの役割
4.第10回RYLA研究会報告書を踏まえ、RYLA情報の共有
5.国際ロータリーからの報告
6.全国のRYLA活動の拡大及び活性化
7.RYLAに関する地区間の情報交換
8.2018 JAPAN RYLAセミナーの報告

東京代々木で第8回全国RYLA研究会が開催され、当地区次年度RYLA委員長玉田龍一郎氏と参加してきました。

　まず南園元国際ロータリー理事による基調講演「RYLAにおける中核的価値観とリーダーシップ」をいただきました。そこでRYLAの特徴として発足時は「人に対する尊敬と向上心」「地球を愛し発展を祈る精神」を養う活動であったということです。そしてすべてのロータリアンは戦略的計画の中核的価値観を理解し、尊重して青少年奉仕活動を行うべきだとお話しされました。その中核的価値観のなかでリーダーシップについて見識と指導性を発揮し先見性と充実した成果を得ることでロータリーの発展を促すものだと説明されました。

　リーダーシップの条件として次のようなことを挙げられました。

* ビジョン、目的を持つこと
* 判断力を持つこと
* チームワークを保つこと
* 協調をコーディネートすること
* 人間性に優れていること
* 異なる意見を尊重すること
* 率先して実践すること
* 認証、確認、広報を大切にする

そしてリーダーシップについてドラッカーの言葉を紹介されました。
「人の水準を高め、成長の水準を高め、通常限界を超えて人格を高めることである。そのようなリーダーシップの基盤として行動と責任についての厳格な原則、成果について高度な基準、個人として人と仕事に対する敬愛を日常の実践によって確認していくものである。」

[2015.12　RYLAにおける中核的価値観とリーダーシップ　第８回全国RTL研究会南園義一.ppt](http://www.ri2720.org/wp-content/uploads/2016/02/01.ppt)

[RYLAにおける中核的価値観　第８回全国RYL研究会　南園義一.docx](http://www.ri2720.org/wp-content/uploads/2016/02/01.docx)

最後に全国34地区の中でセミナーを開催されているのは28地区あるということです。まずは全地区が開催されることも大切ですが、はたしてそのセミナーを行うに当たり、個々のロータリアンやクラブがこのリーダーシップについてほとんど認識されていないのではということでした。

つづいて大会副委員長　御手洗美智子　元国際ロータリーRYLA委員会委員長から「日本のRYLAの今後について」のお話がありました。そこで2014年10月の国際ロータリー理事会決定事項「国際RYLAの廃止」までの経緯と同時に事務総長に再開の養成を行ったこと、そして2015年1月の理事会で新世代リーダーサミット「Young Leaders Summit」がソウル国際大会で2016年5月27日にホスト国プログラムとして実施されることを紹介されました。

私は国際大会に先立ち「国際RYLA」が開かれていたということ、そしてその大会に日本から学生が参加していたということなど初めて知りました。またその参加者は「RYLArian」と呼ばれネットワークも持っているということです。

この「Young Leaders Summit (YLS)」については各クラブに地区からご案内があったと思いますがソウル国際大会にボランティアとして参加を希望される19歳以上の若者を募集しているということです。そこでは大会期間中の宿泊費や食事などが受けられるほか、世界中の若者との交流が得られるということです。

昼前後は先ほどのRYLArian5名から「セミナー参加」の報告がありました。なかでもD2750の発表者は高校生の時に参加した国際RYLAセミナーが契機となって自分の将来の方向性が明確となったということでした。その後東京大学に進学、そしてソウル国際大学、北京大学に留学して学び、東アジアの平和に役立つ仕事をしたいということでした。

そのあと分科会（テーブルディスカッション）を行いました。私が参加したテーブルはD2580鈴木喬ガバナー、D2770井原實ガバナーほか7地区のRYLA委員長や委員で会議を行いました。各地区が行ったセミナーについて特徴、課題について報告を行い、それぞれについて質問や意見を出し合いました。

* D2670　兵庫2680地区と合同開催で小豆島に3泊4日　予算は400万
* D2840　ホストクラブが主催し体験型のセミナー
* D2580　来年度RYLA委員会を発足させる。東京・沖縄
* D2760　参加者120名　年齢層は16～30歳　人数が増えると食事に時間が取られる
* D2550　一般参加者と別にして日帰りの高校生RYLAを企画している
* D2750　講演者も受講生もスキルが高い
* D2770　研修旅行的なセミナーを改める取り組み　RYLArianの育成？

今年度、当地区でも久しぶりにセミナーを開催することができましたが今後も継続していくためには参加者にとって楽しいものであることはもちろんですが、参加することで将来の目標を達成させるためのスキルに何か役立つ内容にすること、そしてそれを広めていくことに協力的になってもらうこと、そして何より各ロータリン、クラブのご理解とご協力が不可欠だと思いました。各クラブに参加者の感想などを掲載した報告書を後日送らせていただきますので、ぜひご覧になっていただき受講生推薦よろしくお願いいたします。次年度は同じ青少年奉仕部門　青少年交換委員長を務めますが引き続きRYLAについても参加したいと思います。

第１０回

2018年1月28日（日）
於：神戸産業振興センター

　第10回目になる記念の「全国RYLA研究会」が2018年1月28日（日）に神戸で開催されました。
　全国から約150名のRYLA関係者が集い、「RYLAとは何か？～より良いRYLAセミナーを目指して～」をテーマに『What is RYLA？』『RYLAの原点に返り、真のリーダーシップを求めて、新たにRYLAプログラムを始めてみよう』『RYLAセミナーをより良くしたい』など、本質を深く掘り下げる研究会が行われました。そして、RYLAの更なる活性化と全国的な情報交換、RIからの報告等も含め、昨年度実施されました『第1回日本RYLAセミナーin愛知』の報告。今年度は『2018 JAPAN RYLA セミナーin 小豆島・余島』が、D2670とD2680共同で5月に開催されることが発表されました。
　「全国RYLA研究会で理論を学びJAPAN RYLA セミナーで実践へ」という一連の流れの企画でもありました。
　記念講演では「今井鎭夫氏の青少年育成に対する姿勢」をテーマに安行英文氏のRYLAの真髄・倫理と実践の講演、午後から3分科会に分かれ『RYLAセミナー後のアフターフォロー』などを考えて、1)Basic RYLA：運営方法から、 2)Next RYLA：学友会設立について、3)Advance RYLA：応用編までの流れが分科会で行われました。
　今回、D2760の学友会（RainbowCorps）2名も参加し学友会の事例発表を加え研究をして来ました。
　RYLA受講生にとって、RYLAセミナー修了時からが、本当のRYLAの始まりです。RYLA修了生・RYLArianのアフターフォローはじめ、青少年奉仕のクロスプロモーションの中心となって活躍し、RYLA学友会の活性化を推進し活動を支援しよう！
　Advance RYLAを見据えて！今回はRYLAの組織原理の確立に重要な基礎として大変勉強になりました。また、学友会の方向性も参考になり、今後のRYLAのスキルアップにつなげたいと思います。